

甲斐市立竜王南小学校 自己評価書（前期・後期）

平成27年7月15日（水）作成

校長 「堀内 訓」 記述者 職名（教諭）「内藤 賢」

学校教育目標

「楽しい学校（楽校）の創造－やる気 こん気 げん気－」

学校経営方針

- ・知・徳・体の調和のとれた「生きる力」をはぐくむ信頼される学校づくり
- ・家庭・地域・社会と交流・協力を図る開かれた学校づくり
- ・学校・家庭・地域が連携した発信する学校づくり
- ・楽しい授業・楽しい学級・楽しい学校を追究した活気ある学校づくり
- ・特色ある教育活動を展開する魅力ある学校づくり

1 全体評価

○学校教育目標「楽しい学校（楽校）の創造」に具体的に取り組むために、校長の方針として「明るいあいさつができる子ども」「一生懸命に掃除ができる子ども」「すすんで学習できる子ども」「おちついた生活ができる子ども」の4つの具体的行動目標を設定し、4月から具体的に取り組んできている。校内研究では、「いきいきと学び合い楽しくわかる授業づくり-学級と子どもたちの実態に即した工夫を通して-」をテーマに、引き続き全校一丸となり実践を積み重ねている。

全校児童のアンケート集計を見ると、Q1の回答率A+Bは、昨年度（94%）同様に93.3%だった。学校生活に満足している児童の割合が高いことが確認できた。校内研究の一環としてのQUによる学級経営の分析と改善、楽しくわかる授業の実践による成果も表れていると言えるが、6%の子どもたちにも引き続き支援していくことが必要である。

「明るいあいさつ」については、Q18、26を見ると、回答率A+Bは90%であり高い数値ではあるものの、自分ではしているつもりだが相手に届いていないこともある。6、7月には、児童会活動や生徒指導からの具体的活動により、さらに充実を図っている。

「一生懸命に掃除」については、Q22を見るとA+B97%と高い数値である。よりよい状況を積極的に伸ばしていくためにも、「無言清掃」の取り組みや掃除の時間の音楽を落ち着いた曲にするなど、より充実を図っている。

「すすんで学習」については、Q9、11、12、13を見ると、Aでの回答率が40-60%程度であり、今年度の改善点の一つと言える。校内研での研究を進めると同時に、すでに7月から学習強化月間を設定し、家庭学習を含めてより学習に励んでいる。また、夏休み中に全学年で学習会を設定し、希望者の学習支援を行うことにしている。

「おちついた生活」については、Q27を見ると回答率A+Bが90%になっている。各学級での学習や生活の様子をみても、子どもたちは元気かつ落ち着いた雰囲気の良い状況にあるが、例えば「廊下を歩く」など具体的なことに意識が低い所がある。全ての教師が走っている子どもを見たら声をかけるよう徹底して取り組んでいる。

甲斐市全体のアンケート結果同様、本校でも睡眠時間と児童の読書時間の取り組みに、個人差が大きくばらつきが見られる課題も引き続きある。今年度も生活リズムを安定させることの大切さを学校で指導すると共に、家庭での時間のゆとりを確保していくよう各家庭へ啓蒙する。創立40周年の節目を迎える中で、児童一人一人の頑張り、学校での取り組み、保護者や地域の方との協力体制をより強固なものにし、より良い学校の具現化に努めていく。

2 項目ごとの評価結果（達成状況・改善策）

I 学校教育目標に関して・学校経営について

達成状況	<p>学校教育目標・学校経営については、福利厚生・健康管理を除き、A（そう思う）＋B（ややそう思う）で100%であった。定期的に具体目標を確認することで、職員が意識して学校教育目標と今年度設定した具体目標に取り組んでいるものと思われる。</p> <p>PDCA サイクル（PLANプラン計画、DOドゥ実行、CHECKチェック評価、ACTIONアクション改善）、福利厚生・健康管理については、A回答率が低い。</p>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCA サイクルについては、行事等で計画・反省を必ず職員会議で話し合うことにより意識を深め、他の活動でも実践して学習活動をよりよくしていけるように努めたい。 ・福利厚生については職務とのバランスが難しいが、「配慮感」が高められるよう努めたい。
II 学校運営について（保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	<p>学校教育目標同様に全ての項目でA（そう思う）＋B（ややそう思う）の値が高い。B回答の割合が高いものもあるが、日々職員全体で竜王南小学校をもっとよくしていきたいという課題意識の高さの表れと言える。</p> <p>特に、Q2 危機管理、Q4 校務分掌、Q5 職員会議、Q8 校内研に関しては、A回答がやや低い値を示すこととなった。いずれも「ここまでやればよい」という性質のものでなく、深めればどこまでも深められる性質の職務なので、自分に厳しく評価しているものと思われる。</p>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理、校務分掌、職員会議、校内研で、自信を持ってA回答できるよう、肯定的な雰囲気の中で職場を活性化していく。
III 学習指導について（児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	<p>学校教育目標に沿って、楽しい授業づくり、楽しいクラスづくりに全職員が力を入れて取り組んでいることがうかがえる。教職員が、指導時間の確保や個に配慮した授業づくり、基礎・基本の定着を図るために日々努力していることが伝わってくる。</p> <p>同時に、Q7 質問・発言が出てくる授業、Q8 宿題や家庭学習に対する指導からは、学習指導・支援に日々力を入れているものの、学級全体を見通した時、現状に課題意識を持っていてより充実させていかなくてははいけないととらえていることもわかる。Q5 評価規準・評価方法を明確にした授業、Q10 外国語活動の充実については昨年度に引き続いての要改善事項である。</p>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・Q5 評価規準・評価方法を明確にした授業については、授業の始めと終わりの板書での示し方など指導法について校内研で充実させていくことや、教育課程編成の機会を生かす。 ・Q10 外国語活動の充実については、多くの教職員が児童の興味関心を引き出す自信を持てるよう、ALTと連携した授業づくりを充実させる。
IV 生徒指導について（児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）	
達成状況	<p>生徒指導についての項目では、全ての項目でA（そう思う）＋B（ややそう思う）の値が95%以上という高い回答を示した。気がついたことをすぐ全体に報告したり、会議の最後には「気になる児童の連絡」を設けたりして、気になったことは常に全体で共有して取り組んでいる。全職員共通理解のもと指導にあたることで、どの児童も学年学級担任以外の教職員が対応できるようにしている。昨年度同様、児童アンケートの中から「困った時に相談してくれる先生の存在」でも80%以上の回答が得られていることから分かる。</p> <p>課題点としては、Q3「生き方教育推進」とQ7「豊かな心を育む指導」が挙げられる。生き方教育は様々な教科で行っているが、小学校では、その学習が生き方教育のみの内容でなく各教科の学習活動と関連して存在することが多い。各教科の学習目標が中心となるためにB回答をしていることも考えられる。今後は、道徳が教科になることを踏まえ、将来の自分像を描き大きな夢をいつも心に持てる児童の育成、そして多くの仲間と心をつなげていく活</p>

	動に力を入れていくことが望まれる。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の中で指導されてきている生き方教育について，指導教師がねらいを明確にする。教科のねらいと生き方教育両方のねらいを意識して指導にあたる。 ・道徳が教科になることも踏まえ，将来の自分像を描き大きな夢をいつも心に持てる児童の育成に努める。
V 地域との連携について	
達成状況	<p>農園でのいも作り，米作り，グリーンカーテン設置，芝生への散水，日々の交通安全指導，この時期には球技会・ラジオ体操指導と，学校教育支援への地域の力をととも感じる。児童の学習や生活規律は学校，家庭，地域の三本柱が揃うことで大きな成果となるので，学校としても地域との連携を大切に取組んでいる。Q1 地域人材・施設の活用については，もっと地域人材を活用したいという意識が見える。Q4 P T A 活動の主体的参加，Q5 保護者の P T A 活動については，教職員もできるだけ地域，P T A 活動に主体的に関わっていくことが必要である。</p> <p>Q3 に関連して，今年度もホームページやたよりの充実を目指している中で，修学旅行の安否速報を放送局にも依頼して実施した。地域内だけでなく，児童のことを心配している地域外の方々にも情報が伝わるようになった。</p> <p>今年度も家庭学習の充実を目指して「家庭学習の手引き」を既に各家庭に発送しており，Q7 の「学習指導や生徒指導に協力的である。」の向上を目指している。</p>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A 活動の充実に向けての一環として，教職員も夏休み中の地域のラジオ体操に参加する。 ・家庭学習の充実を目指し，各家庭で継続して「家庭学習の手引き」を活用してもらえよう呼びかける。
VI 学校の特色に関して	
達成状況	<p>学校教育目標の具体目標にも掲げている「あいさつ」の取組み等，とても高い回答を示した。今年度は職員の朝礼をやめ，学級担任は朝教室にいるようにしている。その分朝読書や朝学習指導もより充実している。児童会活動は，本部役員と指導教師を中心に，P D C A サイクルを確立して熱心に行われている。先日行われた児童集会では，縦割り班でルールを守り楽しく活動できていた。7月には，あいさつや掃除週間に全校で取り組むことができた。本校は自校給食なので，栄養教諭からもアイデアあふれる取組みがある。学級担任も食育を重視して給食指導に努めている。</p>
3 まとめ	
<p>〈成 果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が共通理解のもとに指導にあたるよう，気がついたこと，気になることを全体に報告できる体制をつくって取組んでいるので，様々な場面で常に複数の教師でチーム対応ができていること。 ・4つの具体的行動目標を掲げて具体的に日々取り組むことで，教職員と児童がよりよい生活を具体的に意識して課題解決に向けて取り組んでいること。 <p>〈課 題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての児童が将来の夢や希望を持てるよう，生き方教育や心の教育の充実を図ること。 ・家庭学習，宿題への取組みの向上を図ること。 	